



# 虹色

平成24年8月

発行  
秋田県生涯学習センター  
〒010-0955 秋田市山王中島町1-1  
FAX : 018-824-1799  
E-mail : sgcen002@mail2.pref.akita.jp  
編集担当：社会教育アドバイザー

## 「荒城の月」と秋田高校校歌！？「企画講座 絆を求めて 東北の詩人たち」から

7月12日、生涯学習センターにおいて、シニアコーディネーター企画講座『土井晩翠（宮城）～叙事詩「荒城の月」』が開かれました。



晩翠は、帝大英文科に進学した後、日本近代詩において島崎藤村とともに「新体詩」に足跡を残し、仙台に帰ってからは、二高で教鞭をとりました。

表題の『荒城の月』は、明治34年『中学唱歌』に掲載されましたが、31年に発表した『星落秋風五丈原』と重なる、と講師北条常久先生からお話がありました。

『星落秋風五丈原』は、『三国志』に登場する丞相諸葛孔明について“…風塵遠し三尺の剣は光曇らねど 秋に傷めば松柏の色もおのづとうつるふを…”と歌います。

父親の影響で幼少期より漢籍に親しみ、変わらぬもの、天下国家、忠誠等を論じていた晩翠でした。

東京音楽学校から作詞の依頼を受けると、修学旅行先の会津若松で目にした荒城の姿と悲話を思い浮かべたようです。月の光と対比させた詩は長く歌い継がれる歌曲となり、再び現在、音楽の教科書に登場しています。

今回の講座では、秋田高等学校、大館鳳鳴高等学校、横手高等学校の校歌が晩翠の作品であることも紹介

されました。左記の歌詞は秋田高等学校校歌第三・四連です。高い理想を掲げ前に進む若者の姿を謳い上げ“母校のほまれを上げよよに♪”と結んでいます。講座会場には校歌が流され、興味津々かつ真剣な表情で聞き入った90分でした。

先生 篤胤  
先蹤に 信淵  
たかひに 健児  
かみは 未だ  
追ひつゝ 其途  
健児は 其途  
未だ 進む  
追ひつゝ 進む

金鉄つらぬく陽気の如く  
精神奮ひて学びて高きため  
敬愛を理想高くめつくす  
おのれを修めて世のため

## 自主企画で学ぶ仲間たち

生涯学習センターでは、『自主企画グループ等講座支援事業』を通して、地域で生涯学習振興のために活動しているグループ等の自主企画講座を支援しています。『学ぶ者が学ぶ者を支える』活動の活性化を図るためです。現在は、8団体が例会を開き、活動を深めています。7月5日は『マナビィ・スタッフ秋田の自然を学ぶ会』室内講座が開かれました。

“幸齢社会の楽しみ”と称した第3回の演題は「一茶、その流転と句興～わび、さび、いき、そしてかるみ～」、講師はコラムニストの小松寿一さんでした。

### 「いままでは 踏まれていたに 花野かな」

15歳で故郷の信州柏原から江戸へ出た弥太郎（後の一茶）が、田舎くさい俳句が自分の生きる道と考えたころの一句です。しかし、その後の流行“粹（イキ・スイ）”には存立できず、さらには、52歳で結婚したものの四人の子どもは育つことなく、家族の縁も遠いものでした。その一茶が晩年に選んだのは“わび”ではなく“かるみ”でした。

### 「めでたさも 中位なり おらが春」

嘆きやわめきをおかしみに変えていく精神のギアチェンジである、との講話にうなずき、中風から快復した59歳の句「ことしから 丸儲ぞよ 娑婆遊び」に笑いがこぼれ、俳句に込められた一茶の生き方を学んだ1時間でした。



## あなたもどうぞ 自主企画グループを紹介します

お問い合わせは当センターにお願いします。

- ☆ **あきたエコマイスター県央協議会** 毎月第3日曜日 第一交流室  
秋田県立大学等と連携し、地球温暖化防止と環境保全に取り組んでいます。
- ☆ **マナビィ・スタッフ秋田の自然を学ぶ会** 毎月第1木曜日 視聴覚室及び第一交流室  
月1回の研修会を開催しています。9月6日は「一行力」と題した講話です。年2回の研修旅行も予定しています。
- ☆ **秋田県生涯学習インストラクターの会** 不定期  
庭木の手入れや医学に関する講座を実施しています。
- ☆ **グレアカ・健康・レク・OB** 毎月第2・第4木曜日 視聴覚室  
主に健康に関する活動を行い、晴天時には屋外での実施もあります。
- ☆ **生涯学習ボランティアグループ「ヤッホーの会」** 毎月第4日曜日 第一交流室  
“どうしたらみんなで生き生き幸せに暮らせるだろうか”をテーマに話し合いや講演会を行っています。
- ☆ **平安文学に親しむ会「枕草子を味わいましょう」** 毎月第2・第4金曜日 視聴覚室  
講師の先生を中心に「枕草子」を原文から読み解いています。
- ☆ **ボランティアコーディネーター「のぞみ」** 毎月第1火曜日 第一交流室  
会員の経験や技術を生かして生涯学習及び子どもや高齢者の活動を支援しています。10月7日は「じゃんけんて頭の体操～心も体もスッキリゲーム」を予定しています。
- ☆ **洋の会** 毎月第1・第2・第3水曜日 和室  
日本舞踊の練習のほか、西馬音内盆踊り保存会から講師を招いて、盆踊りの講習会なども開催しています。



## 生涯学習・社会教育関係職員実践講座、各地で開催中



前期の実践講座は、横手市民会館、由利公民館、能代山本広域交流センター、大曲交流センター、合川公民館及び生涯学習センターを会場にして実施しました。

内容は、『高校生参加型ワークショップの作り方』、『公民館のイメージ戦略』、『地域を元気にする広報誌の作り方』、『プレゼンソフトで講座の表現力up!』、『Wordで簡単! 1ランク上のチラシの作り方』についてでした。

左の写真では『公民館のイメージ戦略～トータルデザインを考える』の講師、ブランディングディレクター野崎文隆氏が、「チラシを見て、行動を起こさせるにはどうしたらよいだろうか?」と受講者に問いかけています。

「デザインには目的がある。ターゲットを絞りどうしたいかの戦略をもち、それを表現する。」「日常においても、目

に入ってきた物の何に自分は惹きつけられたのか、瞬時に考える習慣をつけ感性を磨く。」「デザインは24時間営業している。」と、ご自身の作品を通して具体的に教示してくださいました。

受講者の質問にあった『公民館における作品の展示や掲示』、『町の文化財を生かす事業展開』に関しても、目的を絞ること、「どこでも同じ」ではない、独自性を出す発想と組立が必要であることを繰り返し述べられました。

右の写真はグループ代表者によるプレゼンテーションです。『地域を元気にする広報誌の作り方～みんなでわいわい作りましょう!～』では、フリーマガジンAg編集長の渋谷明美氏の指導でKJ法によるグループ協働の場が設定され、4ページの紙面構成をレイアウトしました。ここでも、講師からは、「何を伝えたいのかを明確にした写真や見出しで効果を高めることが大切である。」とのお話がありました。

今年度の実践講座のテーマは、「地域の教育力向上から始まる元気な秋田づくり」です。各講座における参加者主体の演習を通して交流が深まっていることが何よりも感じられた前期の各講座でした。

